

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	89	—	事業名	国民健康保険・趣旨普及事業	担当部課	福祉部保険医療課
------	----	---	-----	---------------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	-	会計	2	国民健康保険特別会計
		分野別項目	-	款	1	総務費
		施策の進め方	-	項	4	趣旨普及費
	まちづくり行程表	フラッグ	-	目	1	趣旨普及費
		政策分類	-	大事業	2	趣旨普及事業
	その他(関係法令、要綱等)		国民健康保険法			
事業開始の背景、経緯等		国民健康保険の制度改革について、国保被保険者にわかりやすく伝えるためにパンフレット等の媒体を活用して周知する事業を実施する。				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 国保制度が抱える課題や国保制度改革の内容を「わかりやすく」被保険者に周知するためにパンフレット等を作成し、広報する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(国保被保険者)				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 国保制度の課題及び国保制度改革について理解できるようにする。				
	事業を構成する事務事業	① 国民健康保険・趣旨普及事業	拡充	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		336	1,147	234
決算					159	671	424	
人件費(B)	千円	決算		-	1,910	2,175		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		-	2,581	2,599		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A	パンフレットの作成・配布	回	目標	2	1	2	3
実績				2	1	2	3	
B	広報紙への掲載	回	目標	1	1	1	3	3
			実績	1	1	3	2	
C			目標					
			実績					

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 国保制度について解説するパンフレットを作成・購入し、被保険者世帯全体に配布することで理解を促す。

B 国保の現状と課題、制度改革について広報に特集記事を掲載することで、市民全体への周知を図る

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成30年度の国保制度改革に伴い、改正内容に加え、国保財政の現状についての広報を充実させる必要がある。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 国保の現状と課題、国保制度改革について理解してもらうために、イラストを加えた広報の特集記事やダイレクトメールを活用し、わかりやすくイメージを伝えることができた。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市民に対して、国保制度改革の改正内容をわかりやすく説明する手法を検討する。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 国保制度改革の改正内容や国保財政の現状についての周知の充実を図る。 税率改正の必要性や改正内容をわかりやすく説明し理解を得る。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 広報で周知するとともに、国保加入全世帯へダイレクトメールを送付する。 納税通知書の送付時に、税率改正の内容を伝えるパンフレットを作成し、送付する。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		国民健康保険・趣旨普及事業									
番号	①	事務事業名	国民健康保険・趣旨普及事業	款	2	項	1	目	4	大事業	1	中事業	2
事務事業の期間	事務事業開始年度			-			終了（予定）年度			-			

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	納税通知書の送付時に合わせて、国保制度改正の内容や保険税についてのパンフレットを作成し送付。高齢受給者証一斉更新に合わせて、制度案内のパンフレットを送付。広報紙に現状・課題・国保制度改正に関する特集記事を掲載。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	国保の現状・課題・国保制度改正の内容についての理解を深め、自分たちの問題として考えてもらえるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		336	1,147	234	1,280
		決算		159	671	424	
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
①	消耗品費					424	千円
②							千円
③							千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
パンフレットの作成・配布	回	目標	2	1	2	3	3
		実績	2	1	2	3	
広報紙への掲載	回	目標	1	1	1	3	3
		実績	1	1	3	2	
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
<ul style="list-style-type: none"> パンフレット作成（国保制度改正案内・保険税算定方法説明）7,000部（納税通知書同封：5,917件、窓口配布で活用） 広報紙掲載 平成29年6月号（国保制度改正）8月号（保険税算定方法） 							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

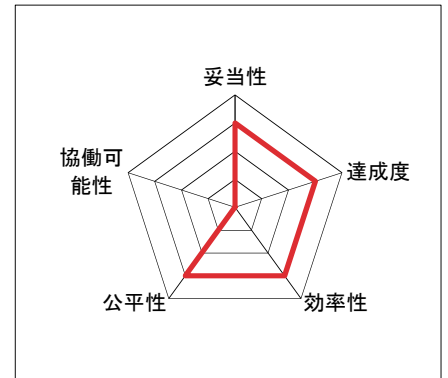
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
国保制度改革に伴う保険税率の改正等について広報を充実させる必要がある。

5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
国保制度改革に伴う改正内容について広報紙に掲載し、国保被保険者だけでなく、市民全体に周知し、考えてもらえるようにする。 納税通知書の送付時や窓口での加入手続き時など、国保被保険者に周知できる機会をとらえて、国保制度改革に伴う改正内容を「国保のしおり」及びパンフレットで説明する。
(何をどのような状態に改善したのか)
国保制度改革に伴う改正内容についてイラストを活用した記事を広報紙に掲載し、国保被保険者だけでなく、市民全体に周知した。 納税通知書の送付に合わせて国保制度改革に伴う改正内容や国保税の算定方法を説明するパンフレットを作成し送付した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	-



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
国保の現状と課題、国保制度改正について理解してもらうために、広報の特集記事を掲載するにあたりイラスト・図表の活用により、わかりやすくメッセージを伝えることができた。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
国保の案内は国保加入の有無に関わらず世帯主宛に送付するので、通知書やパンフレット等が開封されずに、内容が伝わらないケースがあり、開封を促す仕掛けが必要。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
イラストを活用した広報の特集記事やダイレクトメールにより国保制度等について周知し理解してもらう。
送付時には封筒に「必ずご開封ください」等の注意書きや中身が分かるように表示して、見てもらえるような工夫をする。
【広報特集記事】
5月号 国保制度改正、税率改正について
9月号 医療費適正化について
【ダイレクトメール（国保全加入世帯向け）】
5月 税率改正の必要性や改正内容について
【パンフレット送付（納税通知書送付時）】
7月 保険税算定方法など